



賑わいと活力ある街の創造を目指して

当所は、大震災直後にスタートした平成23年度を総括する通常議員総会を5月23日に開催し、「諏訪のパワーで日本を元気に!」と、取り組んだ昨年度事業、収支決算について報告しました。

平成23年度 総括的概要

平成23年度の日本経済は東日本大震災や原発事故の影響、「デフレ」超円高、タイの洪水被害や欧州における経済危機、アメリカの経済回復の遅れなど企業を取り巻く経済環境が厳しい一年でありました。

■沈滞ムードの打破

諏訪商工会議所23年度の活動では、会員の皆様からお寄せ頂いた震災義援金138万



日本を元気に!と開催した諏訪よいてこ

円を日本商工会議所を通じて、被災した中小企業に送りました。また、自粛ムードが漂う中で、第32回諏訪よいて

■安心安全な「まち」へ

第24期2年目は、「賑わいと活力のある街「諏訪」を創造する!」をスローガンに、藤森会頭の陣頭指揮のもと、副会頭が担当する3つの推進本部体制のなかで、新たに安心安全なまちづくりを目指し、将来の諏訪市を見つめた交通体系を研究する交通対策特別委員会を設置しました。



技能五輪競技職種公開訓練

地域住民へのPRを積極的に行いました。技能五輪参加選手が最大限の力を発揮できる「食事」について調査研究を行い、諏訪地域産品を取り入れた食事メニュー「わざまるレシピ」を作成しました。

当所は、地域の総合経済団体として、会員の皆さんが手を取り、知恵を出し合い、行動し、一層「愛される商工会議所」を目指し努力してまいります。皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

商業振興事業は11団体が利用

諏訪中小企業相談所の活動実績

諏訪中小企業相談所で実施した商業振興事業等補助金は、商業会等11団体(昨年5団体)に対して合計109万円の振興補助を実施しました。同事業は今年度も継続して実施します。是非、ご利用ください。

また、経営指導員による金融・税務・経理・経営・労務・取引など経営相談は、巡回指導373企業に対して878回、窓口指導300企業に対

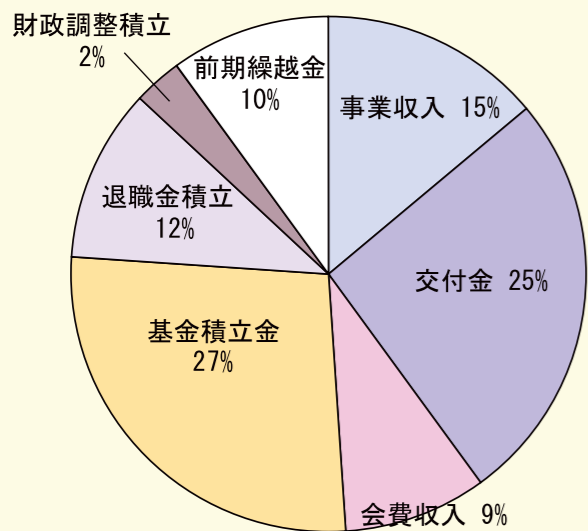
して816回、創業指導は29人に対して69回の相談を行いました。そのうち新規創業者は8人。また、経営セミナーなど講習会開催による集団指導は70回、受講者は1427人、納税相談などの個別指導会は28回、受講者は512人でした。他、平成23年度の提案型補助金事業及び受託事業は合計7件、総額3千8百13万円(各会計)でした。

■平成23年度収支決算報告(10会計連結) 総額 313,713千円 (H.23)

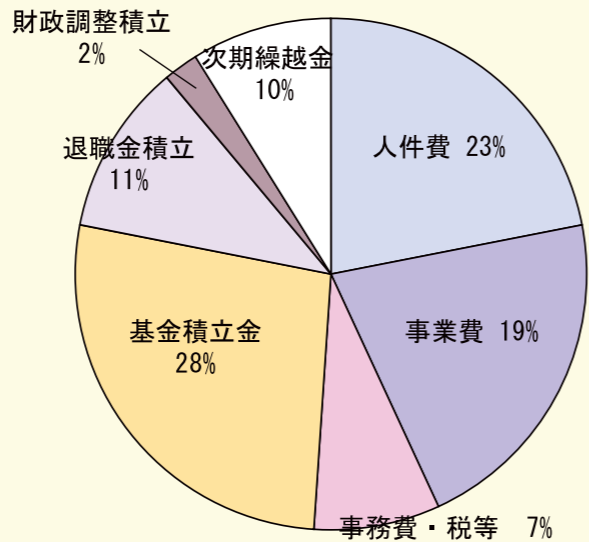
今年度の主な内容として、昨年度の車輛と情報機器更新のための財政調整基金取崩しと、事業終了に伴う交付金の減少により、予算規模が1,000万円縮小となった。県からの業務委託事業「街なか創業塾」と県元気づくり支援事業の終了等により交付金と事業費1,200万円の減と、県活性化基

金補助事業「長野ランチ開発事業」の実施とTMOトランスボックスデザイン事業による交付金と事業費450万円の増により、合わせて約750万円の減となっている。収入では、手数料等が250万円増となり、それに伴い次期繰越金が250万円増となった。

【収入】



【支出】



■重点的な取り組み

○観光振興

観光振興事業については、全国展開補助金事業が採択され2年目となる「諏訪湖まちじゅう芸術祭2011」を開催しました。7回目の「諏訪の長い夜」を核イベントとして諏訪地域を文化・芸術の街として発展させ、諏訪湖エリアの観光滞在時間の延長と観光消費額の増加を図りました。



観光消費の増を担ったまちじゅう芸術祭

○地域振興

地域振興事業については、「美しい街づくり」を実現するため「通りから見える緑と花のコンテスト」を実施し、

諏訪市内から44点の応募を頂きました。



美しい街づくりを目指して開催した通りから見える緑と花のコンテスト

○産業振興事業

産業振興事業については、平成24年に開催される第50回技能五輪全国大会長野県大会に向けて、出場予定選手の公開訓練を実施する等、地域で技能者を育てる環境づくりや